ふくいは楽しい！ふくいは安心！ふくいは元気！

FUKUI CITY

広報ふくい
2024
8/10
No.1642

水辺がくれた至福のひととき。

特集 足羽川水辺ものがたり
みんなのリバーサイド

LINE　HP　X　Facebook

ネ！いいね！

ASUWA RIVER STORY

足羽川水辺ものがたり

みんなのリバーサイド

足羽川で乾杯!?

7月7日、足羽川の幸橋周辺で「ミズベリング 水辺で乾杯 in 福井」というイベントが開催されました。

「ミズベリング」は、日本の水辺の新しい可能性を創造しようと、全国で行われているプロジェクトです。

「水辺で乾杯」は、その恒例イベントで、例年7月7日午後7時7分に、各地の水辺に各自が飲みたいもの、食べたいものを持参し、皆で同時に乾杯するという企画。たくさんの人に、気軽に水辺に集まって親しみを持ってもらうことを目的としています。

福井での「水辺で乾杯」は、平成27年に初めて開催されて以来、コロナ禍をはさんで、今年で6回目。今年は、能登半島地震、20年の節目となる福井豪雨の被災者への祈りを込め、石川県の犀川(さいかわ)や穴水町と中継をつなぎながら、みんなで乾杯しました。

当日は、午前からダンスや歌のステージイベントが行われたほか、キッチンカーやチャリティーバザーなども多数出店し、多くの市民が足羽川の河川敷に集いました。

新しい公共空間としての河川

実は近年、このように、水辺を市民の居場所や活動場所として活用しようとする動きが全国的に広がっています。

かつて川は、人間が農業を営む上での重要な取水源であり、舟運の輸送路として商業を支えるまちの中心であり、生活の中の憩いや学びの場でもありました。

しかし、明治以降、舟運が衰退し、経済性や合理性を追及した河川整備が進められる過程で、人と川の関係は以前より

午後7時7分にみんなで乾杯！

幸橋北詰の東側河川敷に並ぶ出店

足羽川　九頭竜川水系に属する長さ61.7kmの一級河川。池田町の冠山に発し、山間部を北に抜け、福井市の市街地を西へ流れる。大瀬町付近で日野川に合流し、さらに高屋町付近で九頭竜川に合流、坂井市の三国港付近で日本海に注いでいる。

も疎遠になっていきました。

現在、人口減少が進み、地域コミュニティの活性化が全国共通の課題となっています。まちには、人が自由に集まり、語らい、一緒に活動できるような公共空間が求められています。

そうした新しい公共空間の可能性の一つとして、今、河川を含む水辺という場所が再注目を浴びているのです。

足羽川から考えるまち

まちなかを流れる川。皆さんにとって、どんな場所ですか？　桜の季節に堤防を訪れる人、朝夕に散歩やランニングで川沿いを利用している人もいるでしょう。

子どものころに危ないから遊んではいけないと言われた、大雨になると増水が気になる、という人もいるかもしれません。

今回の特集のテーマは、福井の中心市街地の真ん中を流れる「足羽川」です。

福井と足羽川の歴史を振り返り、川とまちとの関係を取り戻す新しい取り組みなどを紹介しながら、福井のまちに住む私たちと足羽川のこれからについて考えます。

河川敷で行われたダンスステージの様子

◎水辺にカモン！

ミズベリング in 福井実行委員会
松島和彦さん

「ミズベリングをきっかけに、水辺で過ごす気持ち良さや、水辺で遊ぶ楽しさを体感してもらえたらうれしい」と話すのは実行委員会の松島和彦さん。キャンプやカヤックなどのアウトドアアクティビティが大好きで、「知識や装備など、きちんと準備ができていれば、水辺は危ない場所ではない。水上自転車、サップなどの水上アクティビティにもぜひ挑戦してほしい」と笑顔で勧めてくれました。

01 ASUWA RIVER & HISTORY

足羽川とまちと歴史

「福井城旧景『九十九橋』」（郷土歴史博物館）

福井のこれまでの歴史の中で、足羽川はどのような存在だったでしょう。

城下町の流通の要

明治ごろまでの足羽川は、福井のまちと日本海を結ぶ輸送路として、重要な役割を果たしていました。

福井のまちなかに、「浜町」（中央３丁目）、「御舟町」（照手３丁目）など、水辺に関係する古い地名が残っているのを不思議に感じたことはないでしょうか。

これは、江戸時代、足羽川の現在の幸橋から新明里橋の間付近に、「河戸」と呼ばれた川港がいくつもあったことに由来します。

九十九橋の上流には「浜町河戸」、下流には「木町河戸」や「八幡町河戸」があり、福井城下への生活物資の搬入口でした。

材木を扱う問屋が集まっていた木町の河戸では、ニシンなどの北海の産物や醤油などが荷揚げされたほか、貨物だけでなく、人を乗せた客舟も三国まで下っていたそうです。

さらに下流、現在の光陽１丁目付近には、福井藩の年貢米を貯蔵する約 3000 坪の米蔵「明里米蔵」がありました。「米蔵河戸」から出荷される「明里米」は、三国を経て、大坂などの米市場まで運ばれました。

また、現在の花月橋から新明里橋の間は、昭和７年に改修されるまで、今よりも大きく南に蛇行するルートを描いていました。小山谷（小山谷町）、笏谷（加茂河原１丁目）の山裾に沿い、現在の丹巌洞の前を通って流れていました。

その一帯は笏谷石の採掘場で、丹巌洞近くの河戸には、石積舟が頻繁に出入りし、越前の特産物として笏谷石を全国へ送り出していました。

江戸時代は、全国的に舟運ネットワークが発達していた時代。足羽川を含む九頭竜川流域も、日本海航路の拠点だった三国湊を通じて、京や大坂、江戸などとの広域流通に属し、経済、文化が大きく成長しました。城下町だった福井は、同時に港町でもあったのです。

町民たちの憩いの場

江戸時代の福井の足羽川周辺、とくに九十九橋付近は、市場や遊興が集まる繁華街でもありました。

「福井藩十二ヶ月年中行事絵巻『七月盆踊りの図』」（郷土歴史博物館）

当時の足羽川の水は清く澄んでいて、岸辺からは水中のアユ、ウグイ、コイなどの姿が見えたそうです。夜は屋形船が浮かび、辺りに三味線の音などが響いていたといわれています。

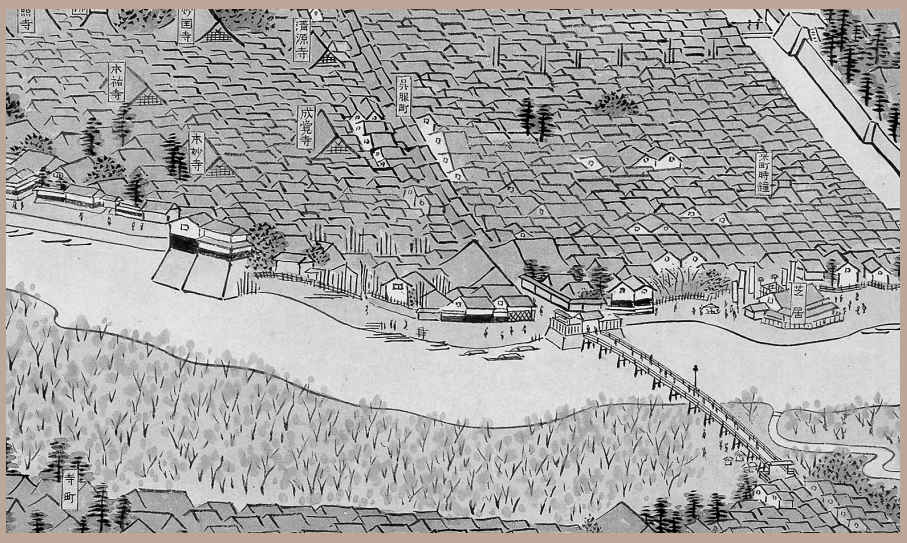
現在の木田橋付近から明里橋付近までの南岸には、約 2km にわたる一面の桃林が広がっていました。春には、足羽山の緑を背景に薄紅色が美しく、花見の名所としてにぎわったようです。九十九橋はまるで桃源郷への架け橋のようだったといいます。

また、夏には、当時盛んに行われていた盆踊りの会場として、浜町、勝見辺りの河原が使われました。大勢の人が集まり、夜店なども出て、半月以上にわたって連日盛り上がったそうです。

足羽川の河原は、町民たちの身近な憩いの場としても親しまれていました。

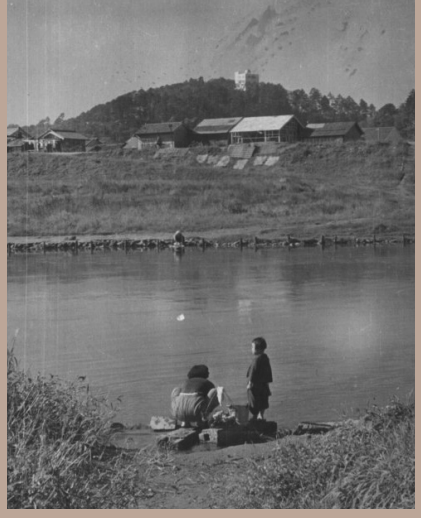
足羽川が育んだ福井

時代をさかのぼれば、安土桃山時代に柴田勝家が北庄に城を築いた背景の一つには、この地がもともと足羽川と北国街道、美濃街道とが交わる商業の中心地であったことが挙げられます。



江戸後期の福井城下を描いた「福井城下眺望図」（郷土歴史博物館）。足羽川の手前に桃林が見える

昭和の中頃と思われる足羽川の写真。川船が往来している



足羽川での洗濯の様子

さらに古く中世には、朝倉氏の一乗谷も、安波賀の市まで舟が上り、足羽川の舟運による交易で栄えた都市でした。

こうして歴史をたどると、福井のまちが、足羽川にずっと寄り添って発展してきたということが分かります。

河原が日常だったころ

明治 44 年に官設鉄道の北陸線三国支線が開通したことを契機に鉄道輸送が発達すると、しだいに河川舟運は衰退していきました。

それでも、大正、昭和の初めごろまでは、福井と三国の間を行き来する川舟が足羽川を行き来していたそうです。

川釣りをする人や、洗い場で洗濯をする人の姿が日常的に見られ、近所の子どもたちにとっては格好の水遊び場でした。夏休みになると、河原に脱衣場や監視のためのやぐらが設けられたこともあったようです。

空襲と震災からの復興を記念して昭和 29 年に始まった「ふくいまつり」（現在の福井フェニックスまつり）では、花火大会や盆踊り、民踊などの会場として足羽川の河川敷が使われました。昭和 30 年代には、戦災や震災で犠牲になった人の慰霊のための「万燈流し」が行われたこともありました。

また、木田橋上流の右岸、足羽川と荒川が合流する付近には、福井市公開運動場がありました。通称「調練場」と呼ばれていたこの運動場では、小学校の連合運動会をはじめ福井市の行事や、サーカス、競馬など、さまざまな催しものが行われ、多くの人が集いました。

まちに残る共通の記憶

昭和の中頃まではその名残を残していた足羽川と福井のまちとの深い関わりも、高度経済成長を背景とする生活環境の変化などにより、現在では随分と希薄になってしまいました。

過去に戻ることはありえませんが、かつての川との密接な関係性を完全に忘れてしまうのは、何とも寂しい思いがします。

江戸時代に足羽川南岸にあった桃林は、明治 33 年に始まった足羽川の大改修工事の過程で姿を消しました。しかし、その後、桃林をしのんだ市民有志により、堤防に桜の木が植えられます。戦災と震災により一旦は消失しますが、昭和 27 年に再び植えられた桜並木が、現在では「日本さくら名所 100 選」に選定されるまでに育ち、毎年私たちの目を楽しませてくれています。

自治会名などに残る古い地名や、かつて足羽川が流れていた湾曲した道路など、まちには、いたるところに過去の福井市民の共通の記憶が残っています。

そうした歴史を参照することは、現在の福井に住む私たちを結びつけるシンボルになり、これからのまちづくりのヒントを与えてくれるかしれません。

足羽川の河原で行われたふくいまつりの様子

◎ 昭和の記憶

足羽公民館 館長
宮原義典さん

足羽地区に生まれ、昭和の前半に子ども時代を過ごした宮原義典さん。「三秀プール（照手 3 丁目にあった市営プール）ができるまで、子どもの水遊び場はもっぱら足羽川だった。冬に雪が積もれば、堤防でスキーやソリをして遊んだもの」。足羽川は、今よりもずっと身近だったと言います。「今年、幸橋の近くにできた『ヨリバ』はよい取り組みだと思う。失われてしまった足羽川と市民の近い関係を取り戻すきっかけになるのでは」と、昔を懐かしむように話してくれました。

02 ASUWA RIVER & DISASTER

足羽川と水害とつながり

春日１丁目の堤防決壊現場

まちと川の関係を考えるときに、決して外せないのが水害の問題です。人間にさまざまな恩恵を与えてくれる河川は、ときに大きな脅威になります。

足羽川もまた、古くから氾濫を繰り返し、福井のまちを危険にさらしてきました。

福井豪雨から 20 年

今年は「平成 16 年 7 月福井豪雨」から 20 年です。6 月 30 日、福井新聞社の呼びかけにより、福井豪雨をテーマにした防災ワークショップが、木田公民館で行われました。

平成 16 年 7 月 18 日、午前から平野部の市街地で内水氾濫による浸水が広がりました。その後、上流からの濁流で足羽川の水位が上昇、堤防から水があふれ出します。そして 13 時 34 分、左岸春日 1 丁目付近が決壊、東西約 3.5km に及ぶ広い範囲が浸水しました。

今回のワークショップに参加したのは、そのときに決壊した堤防の周辺に住む市民たちです。

大きく拡大した地図を広げ、冠水した

田中芳枝さん

区域や土地の標高などを確認し、堤防決壊直後から、数時間後、数日後に状況がどのように変化していったかなど、詳しく体験を語り合いました。

自分たちの住む場所はどのような地形で、近くにどんな川や水路が流れていて、万が一堤防が決壊したとき、水はどのように動くのか。皆、当時は十分に把握していなかったそうです。

地図上で当時の状況を確認

太ももの辺りまで浸水した道を、服を着て靴を履いたままで避難しなければならない困難な状況は、体験するまで分からなかったと言います。

ワークショップには、福井県立大学の学生も参加。自身たちが生まれる少し前に福井で起こった大災害について学び、体験談に真剣に耳を傾けていました。

今後も「共助」できるか

今後の防災の提言として、日頃からの備えの大切さ、正確な情報伝達や発信の必要性などが説かれる中、とくに大きな話題となったのが、「地域のつながり」というテーマでした。

災害が起こったときには近隣同士が助け合う「共助」が大事だ、とよくいわれます。ワークショップの参加者たちによれば、福井豪雨当時、不幸中の幸いだったのが、この「共助」が十分に機能したこと。それにより、たくさんの命が助かり、その後の復興を支えられたと言います。

しかし、皆さんが口をそろえたのは、20 年前に残っていたその地域のつながりが、果たして現在の福井に期待できるか、という危機感です。

昔に比べて、近所の付き合いが減った。同じ町内にある家に誰が何人で住んでいるのか知らない、分からないということが増えた、と言います。

普段から付き合いのない人同士が、いざというときにだけ助け合うということは難しいでしょう。

人のつながり絶やさぬために

参加者の 1 人芳川定史さんは、このときの経験を教訓に、人のつながりを絶やさないため、祭りの際にぼた餅を手作りして関係者に配る、という昔ながらの

◎小さな単位で防災することが重要

木田地区在住で、被災者の１人としてワークショップに参加した横田義弘さん。平成 30 年の福井豪雪の際に、Facebook で災害情報を共有するグループ「福井災害情報」（現在は「福井情報」）を立ち上げたことを契機に、情報発信や災害ボランティアなど、防災に関する活動を続けてきました。

横田さんは、防災訓練として、河川敷や公園などに集まって「防災キャンプ」をすることを提唱しています。「被災時に避難所で近所の人たちと何日も共同生活をするのは、キャンプに似ている。そのときに家にあった食料などを持ち寄って、わいわい楽しくバーベキューをする」。そうして普段からお互い顔見知りになり、災害時の皆の行動についても話し合っておくとよいと言います。「一言で『木田地区』と言っても広い。周辺の地形や、どこに高齢者が一人で住んでいるかなど、実情はさまざま」。国や自治体などの大きな単位を過信せず、町内など、なるべく小さな単位で防災対策をすることの重要性を教えてくれました。

（一社）防災ジャパン
横田義弘さん

芳川定史さん

慣習を意識的に続けてきたそうです。

田中芳枝さんは、福井豪雨後、被災者たちの体験や想いを集めた冊子を編集し、周囲の人たちに配布しました。その過程で知り合った人たちや生まれた新しい絆もあると言います。

そして、今回のようなワークショップの場もまた、水害という共通の体験をベースとして自分たちのまちのことについて知り、話し合うことで、つながりをつないでいく、貴重な場だといえるのではないでしょうか。

「絶対に安心」はない

福井豪雨を受けて、足羽川や日野川では、水害の再発を防ぐため河床掘削や護岸などの工事が行われ、現在は、川の水が当時よりもスムーズに流れる状態になりました。

しかし、気候変動により自然災害が激化している近年、想定を超える災害がいつ発生するか分かりません。「絶対に安心」はありえません。

防災の経験や知恵の共有を

かつて川の近くにある地域では、大雨が降ると、浸水に備えて軒先につるしてある舟を皆で下ろして準備したり、洪水の危険がせまると「水太鼓」と呼ばれる太鼓をたたいて地域の人たちに避難をうながしたりしていたそうです。

そうした慣習は、昭和に入ってからの福井でも、九頭竜川のほとりの舟橋などでは残っていたといいますが、今は昔の話です。

近代的な改修工事による治水が発達することで、かつてに比べると水害の頻度は確実に減りました。

しかし、安全性が増した一方で、より高くなった堤防は、まちに暮らす人たちと川との隔たりを大きくしてしまったかもしれません。

そして私たちは、川への親しみを失い、それと同時に、水害に備え「共助」する経験や知恵もまた、失ってきたのかもしれません。

防災という観点からも、川と私たちの関係を、あらためて考え直す必要があるのではないでしょうか。

ウェブサイト「学生が聞いた『福井豪雨』の証言」より

福井県立大学の学生たちは、時間の経過と共に薄れがちな災害の記憶や知見を後世に伝えようと、福井新聞社と協力し、福井豪雨当時の証言や報道写真、デジタル地図などをまとめたウェブサイトを作成しました。

03 ASUWA RIVER & COMMUNITY

足羽川とまちの公共空間

足羽川 AQUA テラスのバーベキューの様子

治水、利水、そして親水へ

これまで河川には、水害から市民を守るための「治水」、発電や農工業用水などを工面する「利水」の観点から、さまざまな規制が設けられてきました。

しかし、河川は本来、公共空間として活用できる皆さんのための場所です。水に親しむことで精神的、文化的な満足を得る「親水」の観点で、潜在的に大きな可能性を秘めています。

今後の福井のまちと足羽川

令和４年に、福井県、福井商工会議所、福井市の三者が共同で、福井のまちなかの将来像を構想する「県都グランドデザイン」を策定しました。そこには、足羽川の周辺を、アウトドアレジャーやスポーツ、ライトアップされた水辺空間の散策など、多様な楽しみ方ができる「通年型親水アクティブパーク」にすることが示されています。

長い間、河川は、道路や公園などと同じく、法律によって、そこを管理し占有できる主体が、国や地方自治体などに限られてきました。歴史的に人の暮らしと深く結びついてきた川を、再び身近なものとして自由に活用したい。そうした市民からの声が高まり、平成 23 年に法律が改正され、民間事業者などが河川敷地を利用できるようになりました。

足羽川では、第三セクターのまちづくり福井㈱が、福井県から許可を得て、一般の個人・団体に河川敷の一部を貸し出す「足羽川 AQUA（アクア） テラス」を運用しています。

少人数のグループでも大きなイベントでも利用することが可能。屋台やケータリングカーなどを出店することもできます。特集の冒頭で紹介したミズベリングも、この足羽川 AQUA テラスを利用したイベントです。

また、今年３月には、足羽川周辺のにぎわいの拠点として、幸橋北詰近くに「ヨリバ」がオープンしました。カフェや、イベント時にバーベキュー、水上アクティビティなどが楽しめるほか、日常的にみんなが気軽に集まる「寄り場（ヨリバ）」として利用できる施設です。

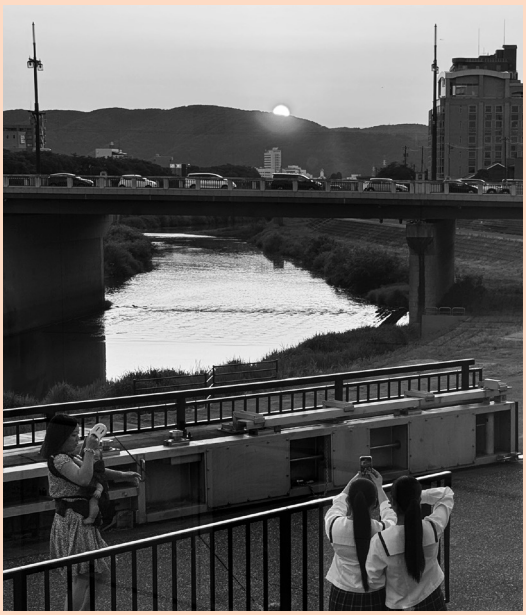
ヨリバが誕生してから約５か月。この間に、早くも多くの人たちがここに集い、親交を深め始めています。

自転車、散歩、ランニング、思い思いに川に親しむ人たち

◎ まちなかの小さな非日常

山西伴幸さんは、足羽川 AQUA テラスやヨリバを担当する「まちなか水辺のコーディネーター」です。坂井市三国町の出身で、子どものころはよく海岸で遊んでいた山西さん。水辺の楽しさや、水辺に集う人たちから学ぶことの重要さを、今の若い人に伝えたいと言います。山西さんは、これまで理学療法士として医療的ケア児のサポートに携わってきました。その経験から、「人が健康で幸せに暮らしていくためには、ときに日常を抜け出し、水辺などの自然の中で過ごすことがとても大事」だと言います。「普段の空間や景色、時間の中で過ごしていると気持ちはどうしても同じようなものごとに向かいがち。福井駅からほど近いまちなかに、自然あふれる足羽川のような場所があるのはラッキーなこと。ぜひ、足羽川で小さな非日常を楽しんでほしい」と語ってくれました。

まちづくり福井（株）
山西伴幸さん



夕景には人の心をひきつける力がある

ヨリバで開かれた高校生向けの進路相談会

犬の散歩や通勤通学などで川沿いを通る人が、ふらっと立ち寄って顔なじみとおしゃべりしたり、ランニングやサイクリングをする人が、ロッカーやシャワーを利用したり。

福井駅から近いためか、高校生、大学生などの利用者も多く、若者たちが自発的に企画したイベントなども活発に開催されるようになっています。

再び動き出した足羽川とまちの関係性

しばらく眠っていた足羽川と福井のまちの関係性は、ここにきて再び動き始めたようです。この場所には、福井のまちと人をつなぎ、コミュニティの発生を促す力があるのかもしれません。

最も身近なようで、これまでは意外と疎遠だった足羽川。今度、ちょっと立ち寄ってみてはいかがでしょう。きっと新しい出会いがありますよ。

県都グランドデザイン

足羽川 AQUA テラス

ヨリバ

河川敷をランニングする人たち

開放的な空間が育むコミュニティ

地域に関わり、市民の健康やまちづくりをサポートする看護師、保健師、コミュニティナースとして活躍する加藤瑞穂さん。ヨリバのカフェを担当し、そこでの空間づくりやコミュニティづくりを支えています。

メンバー同士で内に閉じてしまうのではなく、周囲や社会へと広がっていくようなコミュニティを大切にしている加藤さん。ヨリバでは、そんな理想的なコミュニティが、若者を中心にすでに動き出しているそうです。「足羽川のほとりという開放的な立地と、ヨリバを支えてくれている皆の寛容な雰囲気がきっとそうさせているのでは」と言います。

「私のおすすめは、足羽川の夕焼け空の景色。本当にすごくきれいなので、学校や会社の帰り道などにぜひ立ち寄ってみてほしい」と笑顔で話してくれました。

(株)オリナス 代表取締役
加藤瑞穂さん

INFORMATION

●本号に掲載している情報は、7/22現在の情報です。
●最新の情報、詳しい情報は、ホームページをご覧ください。
●料金の記載のないものは無料です。
●申込欄には、①申込期間、②申込手段、③申込時に必要な情報や書類、を記載しています。
申込の記載のないものは申込不要です。
申込欄③に「共通事項」と記載されているものは、以下をお知らせください。
共通事項
行事名、住所、氏名（よみがな）、年齢、電話番号

お知らせ

全国家計構造調査

5年に1度の「全国家計構造調査」が全国一斉に行われます。

この調査では、家計における消費、所得、資産および負債の実態を調査します。結果は、年金給付額や現役世代の保険料の負担額など年金制度や税制のあり方などを検討する際の重要な資料になります。

調査員証を携帯した調査員が8月中旬から11月まで各家庭を訪問します。調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

調査地域　総務大臣が指定する市内の一部区域
調査対象　約500世帯
※統計調査員を装った「かたり調査」など、不審に思った場合は、お問い合わせください。
問合せ　行政DX推進課
TEL 20-5427
FAX 20-5732

7/1の人口と世帯

人口　25万4513人
（前月比−153）
世帯　10万8219世帯
（前月比+15）

保育園・認定こども園・幼稚園の入園申込

申込要件・保護者と入園希望児童の住民票が市内にある
・1号認定（教育利用）の場合は、入園希望児童の年齢が満3歳以上である
・2・3号認定（保育利用）の場合は、保護者が次のいずれかの事由に該当する
就労（月平均64時間以上の勤務）、求職活動、就学、保護者の疾病・障がい、妊娠・出産、育児（1歳未満の子）、親族の看護・介護、災害復旧
受付期間　10/1㈫～18㈮の平日 9:00～17:00
※園受付の場合は、開園時間によります。
申込先【1号認定】入園を希望する園
※選考方法は園によって異なります。詳しくは、各園にお問い合わせください。
【2・3号認定】市役所別館中2階第11会議室Bまたは第1希望の園
※例年、窓口が大変混雑しますので、受付開始直後は、申し込みなどをなるべく避けてください。
申込用紙は、9/2㈪からこども保育課、各保育園・認定こども園で配布します。
問合せ　こども保育課
TEL 20-5270
FAX 20-5490

市立幼稚園の入園申込

対象　保護者と入園希望児童の住民票が市内にある次の入園希望児童
・5歳児（平成31年4/2～令和2年4/1生まれ）
・4歳児（令和2年4/2～令和3年4/1生まれ）
・3歳児（令和3年4/2～令和4年4/1生まれ）
※3・4歳児の募集は、一部の幼稚園のみです。
受付期間　9/9㈪～27㈮の平日 9:00～17:00
※申込用紙は、9/2㈪から窓口で配布します。
教育時間など、詳しくはホームページをご覧ください。
問合せ・申込先　学校教育課（市役所本館6階）
TEL 20-5350
FAX 20-5344

第2子以降の保育料が無償になります

9月から、こども園・保育所（認可施設に限る）に通う第2子以降の保育料が、保護者の年収にかかわらず無償になります。

対象　市に住民登録があり、保護者と同一生計の第2子以降の子
※兄弟姉妹がこども園や保育所を同時に利用している必要はありません。
既に在園・在所している人が新たに手続きをする必要はありません。
問合せ　こども保育課
TEL 20-5270
FAX 20-5490

校区外就学手続きの申請を受け付けます

次の就学条件に該当する場合は、保護者の申請により就学指定校を変更することができます。

対象　令和7年4月に小学1年生または中学1年生になる人で、次のいずれかに該当し、通学に支障がないこと

転居予定
就学条件　自宅の新築など、6か月程度の内に転居が予定され、転居予定地の校区の学校への就学を希望する場合
必要書類　契約書など転居の予定が確認できるもの

留守家庭
就学条件　両親の共働きなどにより昼間留守となる家庭で、預け先の校区の学校への就学を希望する場合（預け先は市内に限り、市外からの就学を除く）
必要書類　勤務先の在職証明書、預け先の承諾書 など

兄弟姉妹
就学条件　本人の兄弟姉妹がいる学校に就学を希望する場合

他市町村
就学条件　6か月以内に転入を予定している場合
必要書類　契約書など転入の予定が確認できるもの

いずれも
申請書や申請方法など、詳しくはお問い合せください。
問合せ・申請先　学校教育課（市役所本館6階）
TEL 20-5350
FAX 20-5344

児童手当制度が変わります

10月分（12月支給分）から、児童手当の制度を変更します。

主な変更内容・支給期間を高校生年代まで（18歳到達年度末まで）に拡大
・所得制限を撤廃
・支給月を年6回（12、2、4、6、8、10月）に増加
・第3子以降の支給額を増額、第3子以降の数え方を変更（22歳到達年度末までの子に対し経済的負担を行っている場合は、算定対象に含める）

変更後の手当月額
【0～3歳未満】
・第1子、第2子　1万5000円
・第3子以降　3万円
【3歳～高校生年代】
・第1子、第2子　1万円
・第3子以降　3万円

手続き　申請が必要な人には、8月下旬に申請書を郵送します。
※現在児童手当を受給中で、3子以上を養育しており、22歳到達年度末までの子に対し経済的負担を行っている場合は、別途手続きにより、手当が増額となる場合があります。詳しくは、ホームページをご覧ください。

問合せ　こども政策課
TEL 20-5412
FAX 20-5735

全国瞬時警報システムの伝達試験

市内の屋外スピーカーから一斉に放送が流れますが、訓練ですので注意してください。

とき　8/28㈬ 11:00ごろ
※放送内容は、TEL 25-2914（ニッコリ、フクイシ）で確認できます。

問合せ　危機管理課
TEL 20-5234
FAX 20-5235

納期限は9/2㈪です

市・県民税・森林環境税　2期
国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料　2期
納税は便利な口座振替で

募集

はたちのつどい案内はがき広告主募集

令和7年に開催する「はたちのつどい」の案内はがき（圧着式）に掲載する広告を募集します。

募集数　2枠
大きさ　縦30mm×横65mm
申込　①8/30㈮まで（必着）②窓口、郵送 ③申請書、必要書類
※申請書はホームページからダウンロードすることができます。
詳しくは、ホームページをご覧ください。
問合せ・申込先　〒910-8511
福井市役所 生涯学習課（本館6階）
TEL 20-5361
FAX 20-5338

バス運転士紹介で報奨金を支給します

乗合バス事業者（京福バスなど）の人材確保を図るため、県内乗合バス事業者に新たに運転士を紹介した人に報奨金を支給します（1人につき1回まで）。

紹介対象　大型二種免許を保有する仕事を探している人
支給要件　紹介された人が3か月以上勤務すること
申請期間　8/30㈮まで
※申請方法など、詳しくはホームページをご覧ください。
問合せ・申請先　福井県交通まちづくり課
TEL 20-0774
FAX 20-0729

自転車利用サポーター加入企業・団体募集

自転車を活用したまちづくりを進めるため、自転車利用の普及啓発に積極的に取り組む企業・団体を「自転車利用サポーター」に認定しています。

対象　市内で継続的に普及啓発事業や活動を行っている企業・団体
認定要件・ホームページに掲載の認定基準の「取組内容」のいずれかに該当する
・本市の「自転車を活用したまちづくり」に寄与すると認められる
※8/1から、サポーター加入企業・団体に向け、シェアサイクルふくチャリの法人会員割引などのキャンペーンを開始しました。
認定期間　認定日から3年間
申込　①随時 ②窓口、郵送、FAX、Eメール　③申請書
※申請書は、ホームページからダウンロードすることができます。
問合せ・申込先　〒910-8511
福井市役所 自転車利用推進課（本館6階）
TEL 20-5387
FAX 20-5139
✉ jitensya@city.fukui.lg.jp

9月の献血

とき　金曜日を除く毎日
8:30～11:30、13:00～16:00
【成分献血】
8:30～11:00、13:00～16:00
問合せ・ところ　赤十字血液センター 献血ホール「いぶき」
TEL 36-0221　FAX 33-7189

有料広告欄

地域密着
建物のお悩み何でもご相談ください
屋根・外壁の塗装・板金・瓦工事
解体・エクステリア 施工後のアフターサービスも万全
●新築以外のリフォーム全般
●銀行リフォームローンご利用可能
●調査/お見積もりは無料
各種リフォーム承ります！
株式会社 フクイ装建
☎0776-26-5220
〒910-0004 福井市宝永1丁目20-7
フクイ装建 検索

広告内容を福井市が推奨するものではありません。
広告申込先　日勝アド・エージェンシー（TEL 21-0081）

共通事項　行事名、住所、氏名（よみがな）、年齢、電話番号

市職員後期採用試験（１次試験）

試験日　9/22（日祝）9:00 ～
試験会場　地域交流プラザ
申込　①8/13㈫～26㈪ ②ホームページ
※郵送、持参での申し込みは受け付けません。

試験案内の入手方法

ホームページからダウンロードできます。
市役所本館１階情報コーナー、３階職員課でも入手できます。

試験区分と採用予定人員

事務Ｂ 若干名、土木Ｂ 若干名、消防士Ｂ ５人、学芸員（天文）１人、司書１人、事務Ｃ（経験者）若干名、事務Ｄ（障がい者）若干名

・事務Ｄ（障がい者）については、障がいに応じた配慮の内容などにより、一部受験者の試験日が変更となることがあります。
・試験結果によっては、採用予定人員が変更となることがあります。
・複数の試験区分に申し込むことはできません。
・令和６年度前期試験および随時試験の申込者は、事務Ｄ（障がい者）を除き、後期試験に申し込むことはできません。
・受験資格など、詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ・申込先　職員課
TEL 20-5250　FAX 20-5733

ふくい桜マラソン　福井グルメ提供者募集

コース上のエイド（給食所）やフィニッシュ会場で配布する福井グルメ（食品）を提供いただける企業・団体などを募集します。

募集内容　県内の名産品（和菓子、洋菓子、おにぎり、プチトマトなど）のほか、一口サイズのもの
※2000人分以上必要です。
協力特典・大会ホームページなどに掲載
・公式SNSで紹介
・おもてなしイベントでの商品紹介　など
申込　①9/30㈪まで ②Eメール ③申込書
※申込書は、ホームページからダウンロードすることができます。
詳しくは、ホームページをご覧ください。
問合せ・申込先
ふくい桜マラソン実行委員会事務局
（福井県ふくい桜マラソン課内）
TEL 20-0539　FAX 20-0664
✉ marathon@pref.fukui.lg.jp

ふくい桜マラソン　応援ステージ出演者募集

とき　令和７年3/30㈰
【坂井会場（坂井市役所丸岡支所駐車場）】
9:15 ～ 11:15
【福井会場（9.98スタジアム（県営陸上競技場））】10:50 ～ 14:40
対象　吹奏楽、和太鼓、ダンス、チアリーディングなどを披露する団体
※１団体20～30分程度です。出演料はありません。
定員　11団体程度（坂井会場５団体程度、福井会場６団体程度）
申込　①9/30㈪まで（必着）②郵送、Eメール ③申込書
※申込書は、ホームページからダウンロードすることができます。
詳しくは、ホームページをご覧ください。
問合せ・申込先　〒910-8580
ふくい桜マラソン実行委員会事務局
（福井県ふくい桜マラソン課内）
TEL 20-0539　FAX 20-0664
✉ marathon@pref.fukui.lg.jp

イベント

市立図書館リニューアル開館記念作家講演会

とき　9/8㈰ 14:00 ～ 15:30
対象　中学生以上
内容　沢木耕太郎氏の取材経験に基づく「旅の不思議」をテーマにした講演会です。
定員　100人（先着順）
申込　①8/15㈭から ②はがき、FAX、Eメール ③共通事項
問合せ・ところ・申込先　〒910-0017
福井市文京２丁目7-7
市立図書館
TEL 20-5000
FAX 20-5002
✉ tosyokan@city.fukui.lg.jp

親族への事業継承セミナー

とき　8/21㈬ 13:30 ～ 15:00
ところ　福井商工会議所ビル2階 会議室Ｂ
※オンラインでも受講できます。
対象・親族承継を予定している経営者、後継者
・親族承継に関する知識を養いたい人　など
内容・親族事業承継計画書の必要性と計画作りのポイント
・事例紹介
申込　①8/20㈫まで ②電話、FAX、ホームページ ③共通事項
問合せ・申込先　福井県事業承継・引継ぎ支援センター
TEL 33-8279
FAX 33-8286

精神保健講演会

とき　10/12㈯ 10:00 ～ 11:30
ところ　保健所
対象　市内に住む人
内容　福井大学医学部精神医学教授の小坂浩隆氏による「良い睡眠でこころも身体も元気に」と題した講演会です。
定員　50人（先着順）
申込　①8/15㈭から ②電話、FAX、ホームページ
問合せ・申込先　地域保健課
TEL 33-5185
FAX 33-5473

速いのは誰だ ミニ四駆をつくろう

とき　9/22（日祝）14:00 ～ 16:00
内容　㈱タミヤの協力のもと、小型モーター付きの自動車模型の「ミニ四駆」を作ります。
対象　小学 1 年生以上（保護者同伴）
定員　親子 20 組（抽選）
参加費　1300 円（材料費）
申込　① 9/12 ㈭まで（必着）②往復はがき ③共通事項、学校名、学年
問合せ・ところ・申込先　〒 918-8112
福井市下馬 3 丁目 1111　市美術館
TEL 33-2990
FAX 33-3114

運動健康講座 ウオーキング

とき　9/24 ㈫ 14:00 ～ 15:30
※受付は 13:30 からです。
内容・健康運動指導士漆崎由美氏による運動講座「ウォーキング習慣を身につけよう！― 正しい姿勢と歩き方のポイント ―」
・「スマホ de（デ） 健康ポイント事業」アプリ説明会
持ち物　動きやすい服装、飲み物、内履き、スマートフォン
定員　40 人（先着順）
申込　① 8/15 ㈭から ②電話、FAX、ホームページ
問合せ・ところ・申込先
健康管理センター
TEL 28-1256
FAX 28-3747

上級救命講習会

とき　9/22(日祝) 9:00 ～ 18:00
ところ　防災センター
対象　市内に住むか通勤・通学する中学生以上
定員　50 人（先着順）
持ち物　昼食、筆記用具
※動きやすい服装で参加してください。講習修了時に修了証を交付します。
申込　① 8/15 ㈭ 9:00 から ②電話 ③共通事項
問合せ・申込先　救急救助課
TEL 20-3998
FAX 20-3119
（平日 9:00 ～ 17:00）

アクリル絵具で描こう

とき　9/28 ㈯ 13:30 ～ 15:30
内容　イラストレーターさいとうかおり氏の指導により、アクリル絵の具でイラストを描きます。
対象　中学生以上
定員　15 人（抽選）
参加費　1500 円（材料費）
申込　① 9/18 ㈬まで（必着）②往復はがき、ホームページ ③共通事項
問合せ・ところ・申込先　〒 918-8112
福井市下馬 3 丁目 1111　市美術館
TEL 33-2990
FAX 33-3114

おもちゃ病院と 読み聞かせ

とき　8/24 ㈯

おもちゃ病院

じかん　10:00 ～ 16:00
※修理受付は 13:00 までです。
内容　壊れたおもちゃの修理をします。
※おもちゃの返却は、後日になることがあります。
修理できないおもちゃもあります。

読み聞かせ「おはなし おもちゃばこ」

じかん　14:00 ～ 14:30
対象　3 歳～小学生
内容　おもちゃが登場する絵本の読み聞かせと簡単な工作を行います。

いずれも

問合せ・ところ　みどり図書館
TEL 34-8859
FAX 34-8499

悩みごと総合相談会

とき　9/28 ㈯ 13:30 ～ 16:30
（1 人 35 分まで）
ところ　保健所
内容　次の専門家による対面またはオンラインでの個別相談
・ 臨床心理士（心の健康）
・弁護士（法律）
・就労支援相談員（就労）
・障がい者基幹相談支援センター相談員（障がい福祉）
・ケアマネジャー（介護）
・生活困窮者自立支援相談員（困窮）
・依存症相談員（依存症）
・グリーフケア相談員（死別・喪失）
・保健師（健康）
※複数の専門家に相談できます。
定員　各専門家につき 4 人まで（先着順）
申込　① 8/15 ㈭から ②電話
問合せ・申込先　地域保健課
TEL 33-5185
FAX 33-5473

マイナンバーカード 休日窓口

とき　10/13 ㈰ 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 16:00
内容　マイナンバーカードの申請、受け取り、電子証明書の更新、暗証番号の再設定
※事前予約が必要です。
問合せ・ところ・申込先
市民課（市役所本館 1 階）
TEL 20-5736
FAX 20-6032

有料広告欄

今日の健康一言
青春とはなにか

古い中国の言葉に、玄冬・青春・朱夏・白秋
人として芽吹く前の幼少期を玄冬
将来の夢に希望を膨らませるのが青春
青春の経験をもとに成長・発展する朱夏
最後の収穫を刈り取る時期のことを白秋
人の一生に季節をあてはめた言葉遊び
誰もが望んで老年を迎える訳ではなく
老いる人全てが実りを収穫する訳でもないが
誰にとっても一番美しい季節なのが青春
「青春とは心の若さである」とは、
松下幸之助の言葉。
何歳になっても、心の持ち様次第で
心に青春を持つ事が叶う。夢を諦めなければ、
81歳になっても18歳の心で居られる
歳を重ねただけでは人は老いていかない
夢を失った時に老いるのである
心の持ち方次第で世界の見え方は
変えることができる、という意味です。

シニアのフィットネス アルク
福井市宝永 4-3-1 サクラ N ビル
☎0776-22-2208
介護保険適用可・自宅玄関送迎可

広告内容を福井市が推奨するものではありません。
広告申込先　日勝アド・エージェンシー（TEL 21-0081）

共通事項　行事名、住所、氏名（よみがな）、年齢、電話番号

学び舎フェスタ

中央公民館で活動している 32 の市民学習グループによる作品展示、ステージ発表、体験コーナーを行います。

作品展示

とき 9/12 ㈭～ 14 ㈯ 10:00 ～ 16:00
※ 14 ㈯は 15:30 までです。
ところ アオッサ 1 階 アトリウム

ステージ発表・体験コーナー

とき 9/14 ㈯ 10:45 ～ 15:30
ところ ハピテラス

いずれも

問合せ 中央公民館
TEL 20-5459
FAX 20-1538

「ようこそ！ホネ部へ！」展示解説

とき 9/7 ㈯ 10:00 ～ 11:00、14:30 ～ 15:30
内容 自然史博物館の脊椎動物骨格標本作製ボランティアグループ「ホネ部」の特別展「ようこそ！ホネ部へ！」の展示を、メンバーが解説します。
定員 各回 15 人（先着順・会場受付）
問合せ・ところ 自然史博物館
TEL 35-2844
FAX 34-4460

市民活動を応援する助成金合同説明会

とき 9/29 ㈰ 13:30 ～ 16:00
対象 ボランティアや市民活動での助成金の活用を考えている人
内容 地域や社会のための活動を応援する各種助成金について説明します。
助成事業・ＮＨＫ歳末たすけあい助成
・福井県民生協市民活動助成金
・三谷市民文化振興財団事業助成金
・日本郵便年賀寄付金配分事業
・キリン・地域のちから応援事業
・ふくい市民活動基金助成事業
定員 25 人（先着順）
申込 ①8/16 ㈮ 9:00 から ②窓口、電話、FAX、E メール ③共通事項、所属団体
問合せ・ところ・申込先 総合ボランティアセンター（ハピリン４階）
TEL 20-5107
FAX 20-5168
✉ volunteer@city.fukui.lg.jp

障がい者スポーツ教室

とき 9/14 ㈯ 13:30 ～ 15:30
ところ ちもり体育館（渕４丁目）
対象 市内に住むか通勤・通学する人
内容 オーバルボール、ボッチャ、シッティングバレーボール など
持ち物 タオル、内履き、飲み物 など
問合せ 障がい福祉課
TEL 20-5435
FAX 20-5407

こども司書くらぶ 読み聞かせ会

とき 8/25 ㈰ 14:00 ～ 14:30
対象 ３歳～小学生
内容 福井市こども司書くらぶのメンバーが絵本の読み聞かせをします。
問合せ・ところ みどり図書館
TEL 34-8859
FAX 34-8499

福井学公開講座

とき 9/21 ㈯ 14:00 ～ 15:30
ところ アオッサ 研修室 601
対象 市内に住むか勤める人
内容 油あげを福井から全国、世界へ発信します。
定員 20 人（先着順）
申込 ①8/15 ㈭ 9:00 から ②窓口、電話、E メール ③共通事項
問合せ・申込先 中央公民館（アオッサ５階）
TEL 20-5459
FAX 20-1538
✉ cyuou-k@mx1.fctv.ne.jp

消防音楽隊 避難訓練ドリルショー

福井市消防音楽隊創立 70 周年を迎え、防火・防災意識の更なる普及啓発を図るため、記念演奏会を開催します。
とき 11/9 ㈯ 13:30 ～ 17:00
※開場は 13:00 です。
ところ フェニックス・プラザ エルピス大ホール
内容 【第１部】福井市消防音楽隊による記念演奏、ゲスト団体による福井応援ステージ
【第２部】ファイヤーエンジェルス創立 40 周年記念ステージ、避難訓練、消防訓練 など
【第３部】県内外の消防音楽隊によるステージドリル
定員 800 人（先着順）
申込 ①8/18 ㈰から ②ホームページ ③共通事項、希望入場者数、E メールアドレス
問合せ・申込先 消防総務課
TEL 20-3996
FAX 20-3119

グリフィスと小村寿太郎

とき 8/31 ㈯ 13:00 ～ 14:30
内容 （公財）歴史のみえるまちづくり協会職員が、知られざる２人の師弟関係とグリフィスの言論活動について話します。
定員 20 人（先着順）
申込 ①8/15 ㈭ 10:00 から ②電話
問合せ・ところ・申込先 グリフィス記念館
TEL・FAX 50-2911

有料広告欄

UCF 上坂会計グループ
福井ほっとする相続相談室

相続手続き
遺言書作成
相続税相談
無料相談実施中
0120-939-243
福井事務所/福井市江守中2-1312

広告内容を福井市が推奨するものではありません。
広告申込先 日勝アド・エージェンシー（TEL 21-0081）

男性のための断捨離メソッド

とき　9/25㈬ 19:00 ～ 20:30
ところ　アオッサ 研修室 601BC
対象　市内に住むか勤める既婚の男性
内容　断捨離トレーナーつたにみわこ氏の、断捨離思考による自由な発想で、ビジネスの場所などにとらわれず仕事上の無駄を省き、業務効率の向上にもつなげる秘けつを伝える講座です。
・断捨離とは
・断捨離の正しい順番
・継続できる断捨離術！
定員　30 人（抽選）
申込　①9/13㈮まで ②ホームページ
問合せ・申込先　男女共同参画センター
TEL 20-1537　FAX 20-1538

新しい私を生きる「Will（ウィル）」を見つけよう！

とき　10/9㈬ 19:00 ～ 20:30
ところ　アオッサ 研修室 601BC
対象　市内に住むか勤める、再就職や転職などの再チャレンジしたいと考えている 50 代までの女性
内容　社会保険労務士森口美和子氏による、再チャレンジしたい、再び働きたい女性が「Will」（やりたいこと・なりたい自分）を見つけ、仕事への不安や悩みを解消するための講座です。扶養や年金など、社会保険や会社の制度についても伝えます。
定員　30 人（抽選）
申込　①9/27㈮まで ②ホームページ
問合せ・申込先　男女共同参画センター
TEL 20-1537
FAX 20-1538

障がい者向け就職支援セミナー

障がい者向けの就職支援セミナーを受講希望の事業所に出向いて開催します。
とき　9/17㈫～10/31㈭のいずれか1日 9:30 ～ 12:30、13:30 ～ 16:30
※2日間に分けて受講することもできます。
ところ　福井県社会福祉センター（光陽2丁目）ほか、受講希望事業所の指定する場所
対象　嶺北地域にある就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所 など
内容　履歴書・自己PR書作成、面接練習 など
定員　3事業所各10人程度（抽選）
申込　①9/10㈫まで ②電話、FAX、Eメール ③共通事項、事業所名、Eメールアドレス
問合せ・申込先　（株）キャリアプラス
TEL 0120-930-291
（平日 9:00 ～ 17:00）
FAX 34-1367
✉ koto-buki@cpcl.jp

サイエンスカフェ

とき　9/1㈰ 15:00 ～ 16:00
ところ　ハピリン5階 エレベーター前
内容　郷土歴史博物館学芸員が、日本文化と月との関わりについて話します。
定員　20人（先着順・会場受付）
問合せ　セーレンプラネット
TEL 43-1622
FAX 43-1644

ファミリープラネタリウム　月へGO

とき　9/7㈯～10/27㈰の土・日曜日、祝日と10/11㈮～14（月祝）
11:30 ～ 12:05
定員　各回150人（先着順）
料金・一般620円
・3歳～高校生310円
問合せ・ところ　セーレンプラネット
TEL 43-1622
FAX 43-1644

中秋の名月観望会

とき　9/17㈫ 18:30 ～ 20:30
ところ　郷土歴史博物館
内容　月の説明と中秋の名月の観望を行います。
定員　25人程度（先着順）
申込　①8/26㈪ 9:30から ②窓口、電話
問合せ・申込先　セーレンプラネット
TEL 43-1622
FAX 43-1644

園芸講習会

とき　8/22㈭ 13:30 ～ 15:30
対象　市内に住む人
内容　秋～翌春の草花で彩るプランターや花壇を作ります（座学）。
定員　40人（先着順）
申込　①8/15㈭ 8:30から ②電話
問合せ・ところ・申込先
園芸センター
TEL 83-0265
FAX 83-1342

スマホ教室　初心者対象3日間コース

とき　9/11㈬～13㈮ 10:00 ～ 12:00
ところ　アオッサ 会議室502
対象　市内に住むか勤める人
定員　10人（抽選）
申込　①8/27㈫まで ②往復はがき ③電話番号、スマホの機種、返信先
問合せ・申込先　〒910-0858
福井市手寄1丁目4-1　中央公民館
TEL 20-5459
FAX 20-1538

有料広告欄

ひとり文芸ミュージカル「紫式部ー雲隠れー」公演

若き紫式部が源氏物語を執筆するに至るまでの想いを描いた作品です。
～いにしえの平安文化に触れる『紫式部ー雲隠れー』～

日時　2024年9月14日（土）17時30分開演
2024年9月15日（日）13時30分開演
会場　ハピリンホール能舞台（ハピリン3階）
チケット　S席4,500円　A席3,500円　学生2,000円
取扱　ハピリン総合案内　☎0776-20-2080（10:00～19:00）無休
チケットぴあ（Pコード527889）、FC事務局
お問い合わせ　FC事務局　TEL 03-5822-0318
最新情報は公式サイトにて

広告内容を福井市が推奨するものではありません。
広告申込先　日勝アド・エージェンシー（TEL 21-0081）

共通事項　行事名、住所、氏名（よみがな）、年齢、電話番号

あったか塾 ヌメ革キーリング作り

とき　9/21㈯ 10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 15:00（小学２年生以下は保護者同伴）
内容　Sweet（スイート）革工房代表大橋彩葉（いろは）氏の指導のもと、牛ヌメ革にいろいろな刻印をして、県産の花型の反射材を取り付けたキーリングを作ります。
定員　各回 20 人（先着順）
受講料　2300 円
申込　①8/20㈫ 10:00 から ②電話 ③共通事項
問合せ・ところ・申込先　福福館（ふくぶくかん）（ハピリン２階）
TEL 20-2929
FAX 20-2930

はじめの一歩！ 短歌１day レッスン

とき　10/5㈯ 13:30 ～ 15:30
ところ　アオッサ 研修室 608
対象　小学生以上（小学３年生以下は保護者同伴）
内容　NHK 学園短歌コース講師武下奈々子氏の指導による、これから短歌を始めたい人向けの入門講座です。
定員　20 人（抽選）
申込　①8/30㈮まで（必着）②往復はがき、E メール、ホームページ ③共通事項
問合せ・申込先　〒 918-8007 福井市足羽１丁目 6-34 橘曙覧記念文学館「短歌講座」係
TEL 35-1110
FAX 33-3933
✉ akemi-t@do-spot.net

橘曙覧「楽しみは」のつどい

楽しみはミニコンサート

とき　9/1㈰ 11:00 ～ 15:30
内容　花音、鍵盤ハーモニカオーケストラ＊ホシノオト FUKUI（フクイ）、Sax（サックス）& PianoDuo（ピアノデュオ） Lulu（ルル）、アンサンブル mirai（ミライ）の演奏による、新井満氏作曲の「楽しみは」のミニコンサートです。

独楽吟（どくらくぎん）ワークショップ

とき　9/1㈰ 10:00 ～ 16:00
内容・独楽吟の情景を描いてみよう
・短歌カードゲームで簡単短歌づくり

パネル展

とき　9/1㈰ 10:00 ～ 6㈮ 12:00
内容　令和独楽吟を紹介するパネルを展示します。

いずれも

ところ　観光交流センター
問合せ　文化振興課
TEL 20-5367　FAX 20-5670

障がい者就労支援事業所等合同説明会

とき　9/7㈯ 10:00 ～ 15:00
ところ　ショッピングシティ ベル ３階 あじさいホール
対象　障がい者雇用や福祉的就労に興味のある人
内容　障がいの就労系サービス事業所などがそれぞれブースを設け、事業所での支援内容を紹介します。
問合せ　福井市障がい者自立支援協議会就労支援部会事務局（障がい福祉課内）
TEL 20-5435
FAX 20-5407

福井フェニックスまつり　花火を見よう

フェニックス花火に合わせて、各施設を無料開放します。食事、飲酒はできません。
とき　8/23㈮ 18:30 ～ 20:30
※雨天時は 26㈪に延期します。

自然史博物館

白山テラス（一般用）と天文台（写真撮影者用）を開放します。当日の 10:00 から整理券を配り、18:00 から入館できます。ナイトミュージアムとして、展示室の無料開放もします。
※道路工事のため、朝日山不動寺口道路は通行できません。
自然史博物館駐車場は利用できません。
問合せ　自然史博物館
TEL 35-2844
FAX 34-4460

おさごえ民家園

駐車場に限りがあるため、公共交通機関を利用してください。18:00 から入館できます。
持ち物　懐中電灯、飲み物
問合せ　文化財保護課
TEL 35-1015
FAX 35-1017

橘曙覧記念文学館

庭園とテラスを開放します。18:30 から入館できます。混雑する場合は、入館を制限します。
問合せ　橘曙覧記念文学館
TEL 35-1110
FAX 33-3933

自然史講座 鳴く虫の観察会

とき　9/7㈯ 18:30 ～ 21:00
ところ　自然史博物館、足羽山
対象　小学３年生以上（中学生以下は保護者同伴）
定員　15 人（抽選）
参加費　100 円
申込　①8/21㈬まで（必着）②往復はがき ③共通事項
問合せ・申込先　〒 918-8006 福井市足羽上町 147 自然史博物館
TEL 35-2844
FAX 34-4460

有料広告欄

屋根リフォーム専門店

福やね

『あなたのお家、雨漏りしてない?』

※無料診断受付中※

0120-291-487

柴田商事株式会社　福井市二の宮４丁目 17-5

広告内容を福井市が推奨するものではありません。
広告申込先　日勝アド・エージェンシー（TEL 21-0081）

東山健康運動公園　10月から始まる各種講座

講座名		とき	曜日	じかん	回数	定員（抽選）	受講料
プール講座	水中アクア	10/8～12/17	火	19:10～20:10	10回	40人	2700円
	初中級水泳	10/16～令和7年3/12	水	19:00～20:15	20回	25人	5400円
		10/3～12/19	木	19:00～20:15	12回	25人	3240円
	めざせ！上級水泳（上級者クラス）	10/16～令和7年3/12	水	19:00～20:15	20回	25人	5400円
	スペシャル水泳（中上級者クラス）	10/12～令和7年3/8	土	19:00～20:15	20回	25人	5400円
健康維持・増進講座	代謝アップトレーニング	9/30～12/16	月	13:30～14:30	10回	35人	2700円
	ヨーガ	9/30～12/16	月	19:10～20:10	10回	35人	2700円
	ステップアップトレーニング	10/2～12/11	水	13:30～14:30	10回	34人	1000円
	夜ヨガ	10/11～12/13	金	19:10～20:10	10回	35人	2700円
生きがいづくり講座	楽しいヨガ	10/8～12/17	火	13:30～14:45	10回	17人	2700円
	パッチワーク	10/9～12/18	水	10:30～11:45	10回	3人	2700円
	リラックスヨーガ	10/9～12/18	水	19:15～20:30	10回	5人	2700円
	ヨガ	10/10～12/12	木	13:30～14:45	10回	2人	2700円
	やさしい太極拳	10/11～12/13	金	10:30～11:45	10回	32人	2700円
	キックボクシング（入門）	10/11～12/13	金	19:00～20:15	10回	10人	2700円
	コンディショニングヨガ	10/12～12/21	土	10:30～11:45	10回	8人	2700円
	フラダンス	10/12～12/21	土	10:45～12:00	10回	23人	2700円
	太極拳	10/12～12/21	土	13:30～14:45	10回	9人	2700円

いずれも

対象　16歳以上で、医師から運動を制限されていない人

※子ども連れの人は受講できません。

申込　①8/30㈮17:00まで ②窓口、電話 ③共通事項

※利用料金が、別途必要です。それぞれに休講日があります。

問合せ・ところ・申込先　東山健康運動公園　TEL 54-9190　FAX 54-9179

ワークショップ 月の満ち欠けコマ

とき　9～11月の土・日曜日、祝日 13:50～14:10

内容　回して月の形が変わって見える、「月の満ち欠けコマ」を作ります。

定員　各日6人（先着順）

材料費　100円

申込　①8/26㈪9:30から ②電話 ③共通事項

問合せ・ところ・申込先

セーレンプラネット

TEL 43-1622

FAX 43-1644

ふくい障がい者ワークフェア

とき　9/7㈯、8㈰10:00～16:30

ところ　ショッピングシティ ベル

内容【1階 北コート】

・特別支援学校生徒の作品展示、販売

・障がい者雇用に関する冊子の提供

・就労支援機器の展示、体験

【2階 くらしの地域情報センター】

・障がい者雇用パネル展

問合せ　しごと支援課

TEL 20-5321

FAX 20-5323

交通安全フェスタ

とき　9/7㈯10:00～14:00

ところ　ハピテラス

内容・恐竜カー

・パトカー、白バイ乗車体験

・歩行体験シミュレーター

・シートベルトコンビンサー（衝突体験）

・自転車危険体験VR（仮想現実）

・反射材マスコット作り　など

問合せ　自転車利用推進課

TEL 20-5387

FAX 20-5139

共通事項　行事名、住所、氏名（よみがな）、年齢、電話番号

フードドライブにご協力ください

食品ロス削減に向けて、家庭で余っている食品を福祉関連団体などに提供する「フードドライブ」を、民間事業者と連携して行います。

募集する食品

常温保存が可能で、賞味期限が１か月以上残っている食品

【例】

- 缶詰（肉、魚、野菜、果物など）
- 菓子類、飲料（アルコールを除く）
- 粉ミルク
- レトルト食品、インスタント食品
- 海苔、茶漬け、ふりかけ
- 米、乾麺（パスタ、そうめんなど）

次のものは、受け取ることができません

- 開封されたもの、食品が外気に触れたもの
- アルコール類
- 事業所から出されたもの
- 生鮮食品（生肉、魚介類、生野菜）
- 商品説明が外国語のみのもの
- 介護食品、サプリメント

とき	じかん	ところ
9/2㈪～6㈮	9:00～17:00	環境政策課（市役所別館４階）、市民サービス推進課（市役所本館１階）、収集資源センター、消費者センター、東・西・南・北サービスセンター、川西・森田・東足羽・殿下・国見・美山・越廼・清水連絡所
9/2㈪～8㈰	10:00～19:30	西武福井店１階 総合案内所
	9:00～17:00	㈱清水商店（花月３丁目）
	営業時間内	福井県民生活協同組合ハーツ羽水・学園・志比口
	営業時間内	スーパーマーケットバロー久喜津・新田塚・福井南・森田・米松店
	9:00～17:00	総合ボランティアセンター（ハピリン４階）

問合せ　環境政策課
TEL 20-5609　FAX 20-5754

有料広告欄

結成31年 世界54ヶ国 公演数4500回超
世界メディア絶賛！圧巻のパフォーマンス！
9月23日㈪祝 開演14:00
福井県県民ホールアオッサ8F
全席指定　前売（当日500円UP）
大人5500円　高校生以下4000円　3歳以下入場不可
●福井県県民ホール　0776-87-0003(9-21時)
●ローソン(店頭の「Loppi」にて)Lコード:72680
●倭WEB　www.yamato.jp
問魂源堂0744-54-5531

広告内容を福井市が推奨するものではありません。
広告申込先　日勝アド・エージェンシー（TEL 21-0081）

おさごえ民家園行事 後のひな

とき　8/31㈯～9/10㈫
9:00～17:15
※9/2㈪、9㈪は休園します。
内容　江戸時代の秋の節句にならい、古民家内にひな人形を飾ります。
※通常の入園料が必要です。
問合せ・ところ
おさごえ民家園
TEL・FAX 34-3794

少年講座 ふくいマスタークイズ

とき　12/31㈫まで
内容　令和２年度から実施した小学生対象の「ふくいナゾトレにチャレンジ」「福井発見！クイズ」のアーカイブ版をホームページで公開します。
問合せ　中央公民館
TEL 20-5459
FAX 20-1538

子育てラボ

とき　9/11㈬10:00～11:30
ところ　アオッサ 研修室603
※ウェブ会議ツール「Zoom」で受講できます。
対象　市内に住むか勤める、子育てに関心のある人
内容　森のようちえんいけだのそら酒田園長と、さとやま子育てコミュニティいけだのそら笠原氏による、「自然とつながりのなかで育ち合う場 ― 森のようちえんいけだのそらの実践 ―」をテーマにした講座です。
定員　20人（抽選）
申込　①9/7㈯まで ②窓口、Eメール、ホームページ ③共通事項、子どもに関わっている立場（保護者、祖父母、児童館や児童クラブの職員など）
問合せ・申込先　中央公民館
TEL 20-5459
FAX 20-1538
✉ cyuou-k@mx1.fctv.ne.jp

下水道受益者負担金の納入

第２期の納期限は
9/2㈪です。
問合せ　上下水道サービス課
TEL 20-5632　FAX 20-5637

支援へつながるルミナリエバッグを描こう

とき　9/21 ㈯ 13:30 ～ 15:00
対象　ボランティア活動に関心のある15歳以上の人
※18歳未満は、保護者の同意が必要です。19歳以上でがん罹患歴のない人は、材料費として500円が必要です。
内容　がん患者とその家族を支援するチャリティイベントで会場を照らす灯りとなる、ルミナリエバッグを作ります。
定員　20人（先着順）
申込　①8/15 ㈭から ②ホームページ ③共通事項
問合せ・ところ・申込先　総合ボランティアセンター（ハピリン4階）
TEL 20-5107
FAX 20-5168
✉ volunteer@city.fukui.lg.jp

高齢者交通安全大会

とき　8/22 ㈭ 10:30 ～ 12:00
ところ　ハピリンホール(ハピリン3階)
内容・福井市交通安全功労者表彰
・児童の歌による交通安全啓発活動
・交通安全寸劇　など
※来場した人に反射材を差し上げます。
問合せ　自転車利用推進課
TEL 20-5387
FAX 20-5139

水土里ウォーク in みやのした

とき　11/2 ㈯ 9:45 ～ 12:00（小雨決行）
集合場所　すこやかドーム（剣大谷町）
※小学生以下は保護者同伴です。
内容　耕地排水機場などの土地改良施設やコスモス広苑を巡りながらウオーキング、スタンプラリーを行います。
定員　400人（抽選）
参加料・高校生以上200円
・小中学生100円
申込　①10/4 ㈮まで ②郵送、Eメール、ホームページ
問合せ・申込先　〒910-8555
福井市松本3丁目16-10　ふくい水土里の路ウォーキング実行委員会事務局（福井県福井農林総合事務所計画管理課内）
TEL 21-8216
✉ midori-walk-f@pref.fukui.lg.jp

アンガーマネジメント活用講座

とき　9/15 ㈰ 10:00 ～ 12:00
対象　ボランティア活動を行っている15歳以上の人
※18歳未満は、保護者の同意が必要です。
内容　怒りを上手にコントロールする方法「アンガーマネジメント」から、ボランティア活動中のコミュニケーションのポイントを学びます。
定員　20人（先着順）
申込　①8/15 ㈭ 9:00から ②窓口、電話、FAX、Eメール ③共通事項
問合せ・ところ・申込先　総合ボランティアセンター（ハピリン4階）
TEL 20-5107
FAX 20-5168
✉ volunteer@city.fukui.lg.jp

海の生き物観察会 in 越前海岸

とき　9/14 ㈯ 10:00 ～ 11:30
ところ　くにみクラゲ公民館、鮎川漁港
対象　市内に住む小学生とその保護者
内容・越前海岸の生き物に関する講義
・網を使った生き物観察
※雨天・高波時は、シーグラスなどを使ったワークショップに変更します。
定員　10組（抽選）
※子ども1人につき保護者1人までです。
参加費　500円(入館料、保険代を含む)
申込　①9/5 ㈭まで ②電話、ホームページ ③共通事項
問合せ・申込先　福井市環境推進会議(環境政策課内)
TEL 20-5609
FAX 20-5754

0歳からのはみがき教室

とき　9/5 ㈭ 10:00 ～ 11:15
※受付は9:40からです。
対象　生後6か月～1歳程度の子とその保護者
内容　オカダ歯科医院岡田美樹氏による1歳未満からできる虫歯予防についての講座です。
・乳歯の大切さ、虫歯の原因
・月齢に応じたお口のケア方法
・歯磨きを嫌がるときの対応法　など
定員　40組（先着順）
申込　①8/22 ㈭から ②ホームページ
問合せ・ところ・申込先
こども家庭センター（健康管理センター内）
TEL 20-5337
FAX 28-3747

フライドチキンで骨を学ぼう

とき　9/21 ㈯ 10:00 ～ 12:00
対象　小学生以上
内容　フライドチキンを食べて、鳥の骨について学びます。
定員　20人（先着順）
※グループの場合は、1組4人までです。
参加費　1人400円
申込　①8/28 ㈬ 10:00 ～ 9/11 ㈬ 17:00 ②電話 ③共通事項
問合せ・ところ・申込先　自然史博物館
TEL 35-2844
FAX 34-4460

ふくチャンネル 番組情報

福井ケーブルテレビ（地デジ121ch）の行政チャンネル「ふくチャンネル」では、福井市の施策や地域の情報、身近な話題などを放送しています。

番組名	内　容	放送期間
いきいき情報ふくい	もったいないをほっとけない 粗大ごみリユースプロジェクト	8/1 ～ 31
福アワセ	石がかたる、福井400年の歴史の旅 ― 一乗谷・白山平泉寺 ―	8/1 ～ 31
市役所情報局	市民に届け！安全で安心な水 ～福井市水道事業100周年～	8/1 ～ 31

※放送時間や内容は、変更することがあります。詳しくは、広報プロモーション課のホームページをご覧ください。

共通事項　行事名、住所、氏名(よみがな)、年齢、電話番号

9月の無料相談

内容	とき	じかん	ところ・電話番号
人権 悩みごと	9/11 ㈬ 25 ㈬	13:30 ～ 16:00	市民サービス推進課 TEL 20-5544 （相談専用）
心配ごと	9/20 ㈮	13:30 ～ 15:30 （1人30分まで）	
年金・雇用・社会保険	【社会保険労務士】 9/5 ㈭	13:00 ～ 16:00	
行政書士	9/18 ㈬	13:00 ～ 16:00	
成年後見・終活	【行政書士】 9/12 ㈭	13:00 ～ 15:00 （要予約）	市民サービス推進課 TEL 27-7165 （予約専用）
行政	9/2 ㈪ 9 ㈪	10:00 ～ 12:30	市民サービス推進課 TEL 20-5544 （相談専用）
	9/11 ㈬	10:00 ～ 12:30	越廼公民館 TEL 89-2182
	9/12 ㈭	10:00 ～ 12:00	清水東公民館 TEL 98-4510
消費生活	月～金曜日 （祝日除く）	8:30 ～ 17:00	消費者センター （フェニックス・プラザ1階） TEL 20-5588 （相談専用）
労働・雇用	月・火・木・金曜日 （祝日除く）	9:00 ～ 17:00 （要予約）	しごと支援課 （アオッサ5階） TEL 20-5321 FAX 20-5323
精神保健	【精神科医】 9/12 ㈭ 26 ㈭	【精神科医】 14:00 ～ 17:00 （要予約）	地域保健課 （保健所2階） TEL 33-5185 FAX 33-5473
経営（特に資金面）	月・火・木・金曜日 （祝日除く）	8:30 ～ 16:30 （要予約）	商工振興課 （アオッサ5階） TEL 20-5325 FAX 20-5323

内容		とき	じかん	ところ・電話番号
青少年	ヤングテレホン	月～金曜日 （祝日除く）	8:30 ～ 17:00	少年愛護センター TEL 0120-57-4970 （相談専用） ✉yanteresoudan @city.fukui.lg.jp
	メール	終日	返信には数日を要します	
教育	学校不適応	月～金曜日 （祝日除く）	9:00 ～ 16:00 （木曜日は12:00まで）	チャレンジ教室 （高木北2丁目） TEL 52-1255 ✉challenge @fukui-city.ed.jp
	メール	終日	返信には数日を要します	
生活困窮		月～金曜日 （祝日除く）	8:30 ～ 17:15	福祉総合相談室 よりそい （市役所別館3階） TEL 20-5580 FAX 20-5708
結婚		水曜日	13:30 ～ 15:30	㊌市役所本館6階 第6会議室 ㊏アオッサ会議室503 福井市婦人福祉協議会 TEL 20-5696
		9/21 ㈯	13:30 ～ 15:30 （要予約）	
ひとり親・女性（DVなど）		月～金曜日 （祝日除く）	8:30 ～ 17:00	女性支援室 （市役所別館2階） TEL 20-5140
妊娠・出産・子どもの悩みごと		月～金曜日 （祝日除く）	8:30 ～ 17:15	こども家庭センター ふくっこ （健康管理センター内） TEL 20-2905 （相談専用）

※子どもの悩みごとは、毎日（火曜日除く）9:00～18:00に、こども家庭センター分室（アオッサ5階）でも受け付けます。
TEL 20-1541（相談専用）

9月の福井けいりん

富山GⅢ	場外	8/29 ㈭	～	9/1 ㈰
松山FⅠ　ナイター	場外	9/1 ㈰	～	3 ㈫
熊本FⅠ　ジャパンカップ	場外	2 ㈪	～	4 ㈬
京都向日町GⅢ	場外	5 ㈭	～	8 ㈰
立川FⅠ	場外	6 ㈮	～	8 ㈰
福井FⅡ　モーニング7		9 ㈪	～	11 ㈬
防府FⅠ in 玉野	場外	9 ㈪	～	11 ㈬
宇都宮GⅡ　共同通信社杯	場外	13 ㈮	～	16 ㈪祝
いわき平FⅠ	場外	14 ㈯	～	16 ㈪祝
高知FⅠ	場外	17 ㈫	～	19 ㈭
福井FⅠ		18 ㈬	～	20 ㈮
佐世保FⅠ　ナイター	場外	20 ㈮	～	22 ㈰祝
岐阜GⅢ	場外	21 ㈯	～	24 ㈫
福井FⅠ		25 ㈬	～	27 ㈮
青森GⅢ	場外	26 ㈭	～	29 ㈰

TV実況中継　ケーブルテレビ123ch
※中継は「福井FⅠ・FⅡ」、「京都向日町GⅢ」、「宇都宮GⅡ」を優先します。
モーニング7は11時10分ごろまで放送、ナイターは17:00ごろから中継します。

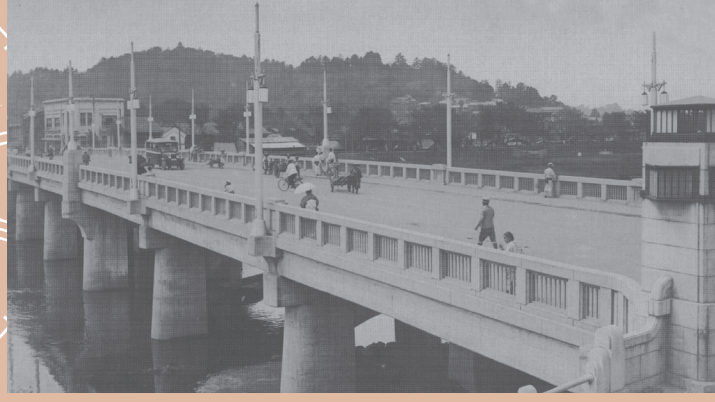
競輪は適度に楽しみましょう・車券の購入は20歳になってから

広報ふくい8/25号は休刊します。次の発刊は9/10号です。

BACK to that FUKUI

あの日の福いいネ！

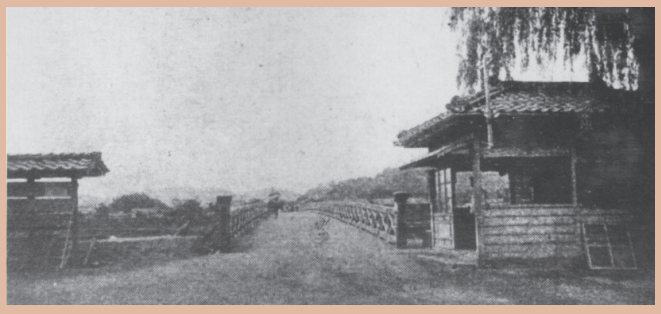
福井の昔の写真を、学芸員の解説を添えて紹介します。



昭和 8 年の幸橋。この時のデザインが現在も踏襲されている

幸いなるかな幸橋

福井市街地を流れる足羽川には、九十九橋と幸橋という大きな橋が架かっています。九十九橋（別称「福井大橋」）が安土桃山時代に柴田勝家によって架けられたとされるのに対し、幸橋が架けられたのは江戸時代の終わりのこと。足羽川左岸の毛矢に居住する武士が登城するための繰舟渡*が設置されていた場所に、文久 2（1862）年、由利公正の発起によって橋が架けられました。このとき公正が「幸いなるかな」と喜んだことから「幸橋」と名付けられたとされます。九十九橋に対して、新たに架けられたことから「新橋」とも呼ばれました。



明治末期の幸橋

明治 38 年には足羽川の川幅が広げられ、長さ約 50m だった幸橋は約 130 mの橋に架け替えられました。また大正 9 年には幸橋を通る道路が国道となり、九十九橋を通る県道に代わって、福井市街地のメインルートになっていきます。昭和 5 年には鉄筋コンクリート造りの橋に架け替えられて、幅員は 4 mから 16.7m に広げられました。昭和 8 年には、その上を福武電気鉄道（現･福井鉄道）が走るようになりました。現在の幸橋は平成 19 年に完成したものですが、その欄干や親柱などは、昭和初期のデザインを踏襲して作られています。

＊川の両岸に綱を渡し、人馬でたぐり寄せて渡る渡し舟

BOOK LABO

図書館司書が本を紹介します。

今月のテーマ「アウトドア」

『ソロキャン！』

秋川 滝美 著（朝日新聞出版）

大手総合スーパーで働く榊原千明は、日々の仕事のストレスから久しぶりにキャンプがしたいと思い立つ。百円均一ショップなどで必要道具をそろえ、まずは日帰りのソロキャンプへと。

ストーリーの中にはキャンプに役立つ情報がちりばめられており、おいしそうなキャンプ飯も多数登場。

自然の中で過ごす癒やしの時間を描く本格ソロキャンプ小説。

『ぼくらの地図旅行』

那須 正幹 文　西村 繁男 絵（福音館書店）

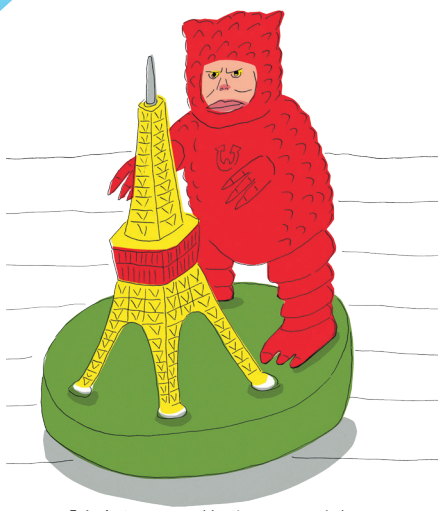
地図を頼りに、駅から歩いて 12 キロ先の灯台を目指すことになった小学校 5 年生のシンちゃんとタモちゃん。山歩きが趣味のシンちゃんの兄に地図と磁石を借り、駅を出ると、早速地図にはない道が。道に迷って予定にない古墳見学をしたり、引き返したりと、旅は予想外の出来事の連続。

2 人が歩く町並みや山道の景色と共にその場所の地図も描かれ、ページをめくって一緒に道中をたどる楽しさが味わえる。

イラストレーター

安西水丸展

「その人にしか描けない絵」を追求し、身近なものを独自の感性で表現したイラストレーター安西水丸（1942～2014年）の作品は、私たちをユーモアと哀愁あふれる世界へと誘います。「小さい頃よりずっと絵を描くことが好きだった」という安西の幼少期から晩年に至るまでの足跡を、原画と資料約500点により紹介します。



「東京タワー」（部分、2006年）
illustration by Mizumaru Anzai ©Masumi Kishida（以下同）

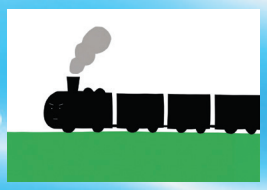
8/3（土）▶9/8（日）
9:00～17:15

※入館は、16:45までです。8/3は10:00開場です。
月曜日は休館です。8/12は開館します。

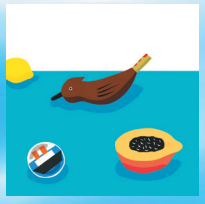
観覧料　一般1200円、高校・大学生800円、小・中学生500円
※未就学児は無料、障がい者とその付添人は団体観覧料金です。

WALKING SHIBUYA
ポスター（制作年不詳）

嵐山光三郎氏との共著絵本『ピッキーとポッキー』（福音館書店、1993年）



「がたんごとんがたんごとん」
展覧会出品作（制作年不詳）



「口笛のきこえる」（1985年）

福井市美術館［アートラボふくい］
TEL 33-2990　FAX 33-3114

安西水丸（Mizumaru Anzai）

1970年代より小説、漫画、絵本、エッセイや広告など多方面で活躍したイラストレーター。広告代理店や出版社に勤め、デザインなどの仕事をしながら、数々の漫画を制作、出版。高い評価を受け続け、独立後は有名作家との展覧会、広告や執筆活動など幅広く活躍した。

Photo by Masataka Nakano

愛宕坂茶道美術館　企画展

風炉 炉
それぞれの茶道具

9/5（木）～12/22（日）
9:00～17:15

※月曜日（祝日の場合は翌平日）は休館です。

茶の湯の一年は、5～10月の風炉（ふろ）と11～4月の炉の時季に分けられます。
本展では、風炉と炉の違いについて、それぞれの道具を通して紹介します。

観覧料　100円
※中学生以下、70歳以上、障がい者とその付添人は無料です。

展示解説
とき　10/13（日）、11/10（日）、12/8（日）
じかん　14:00～14:30
※別途、観覧料が必要です。

TEL・FAX 33-3933